



「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰 男鹿市立船川第一小学校地域学校協働本部



【ダダダコの練習】



【運動会でのダダダコ】

男鹿市立船川第一小学校地域学校協働本部は、令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受けました。その中から、「地域住民と触れ合う盆踊り体験」と「放課後子ども教室」の取組を紹介します。

学校運営協議会で、「未来に伝えたい船川の文化や伝統とは何か」というテーマで話し合いました。昔から男鹿地区に伝わる盆踊りの参加者が年々減少している実態から、子どもたちに盆踊り体験をさせたいという意見が出ました。そこで、小学校の運動会で「コミュニティ・スクール種目」として、昔から男鹿地区に伝わる盆踊り「ダダダコ」を取り入れることになりました。運動会の前に、保存会の方々から「ダダダコ」の指導をしてもらいました。最初は恥ずかしがっていた子どもたちでしたが、「楽しく踊ること」を目標に踊りました。練習を重ねるごとに上手になり、終わり頃には、みんな輪になって元気いっぱい踊っていました。保存会の方から太鼓のたたき方も教えてもらいました。運動会当日は、保護者も地域住民も一緒に「ダダダコ」を踊り、夏の盆踊り会場のような熱気に包まれました。この体験で、子どもたちは地域に伝わる「ダダダコ」のよさに気付き、関心を高めました。

また、放課後子ども教室では、男鹿子ども民謡教室の先生を指導者に「三味線&民謡♪体験」を開催しています。男鹿市発祥の民謡「秋田船方節」を歌ったり、三味線に触れたりすることで、郷土愛を深め、伝統文化の継承につなげています。この他に、放課後子ども教室では、「子どもヨガ体験」や「お部屋飾りをつくろう」など、たくさんの講座を行っています。子どもたちは、普段できない体験をしたり、指導者である地域住民と触れ合ったりしています。地域住民にとっても、子どもたちとの触れ合いが生きがいつくりになっています。

男鹿市立船川第一小学校地域学校協働本部は、「地域は学校と！学校は地域とともに！みんなが主役♪ふるさと愛を育もう♪」のキャッチフレーズのもと、地域住民と学校が一体となって、子どもたちの成長を見守っています。



【三味線&民謡♪体験】



【お部屋飾りをつくろう】



【子どもヨガ体験】



男鹿市では地域学校協働活動推進員が地域コーディネーターとなり、学校と地域をつなぐ活動をしています。地域をよく知る地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員になっているので、様々な人材や活動団体、グループなどが学校と協働できる体制づくりができています。地域学校協働活動推進員の存在で、地域住民の学校に対する敷居が低くなり、学校や子どもたちの活動への理解が深まりました。

文部科学大臣優良公民館表彰 にかほ市仁賀保公民館



～放課後子ども教室「キッズユートリック」～

にかほ市仁賀保公民館は、令和元年度文部科学大臣優良公民館表彰を受けました。文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しています。

仁賀保公民館は、にかほ市における生涯学習・社会教育振興に努め、住民のニーズを考慮した趣味講座や自主学習グループ、子ども、高齢者を対象とした講座等を年間を通じて開催しています。その中から、特色ある事業として、放課後子ども教室「キッズユートリック」を紹介します。



【座禅体験】

仁賀保公民館では、毎年、年度初めに「キッズユートリック」の募集案内を平沢小学校と院内小学校の全児童に配付します。希望する子どもたちは、事前に登録し、平日の放課後や土曜日に開催される年16回の講座に参加します。内容は、あそびりんピック、おもちゃづくり、化学実験教室など、様々な遊びはもちろんのこと、座禅体験や市民文化祭でのバザー、郷土の偉人「齋藤宇一郎」体験など、幅広く行っています。生涯学習奨励員など、地域住民が指導者となっています。



【市民文化祭でのバザー】

また、毎年1月には「子どものつどい」を開催しています。小学校の冬休みを利用し、遊びを通して地域の人々との触れ合いを体験することを目的としています。「キッズユートリック」に登録していない子どもも参加することができ、毎年100名程の参加があります。午前中は「あそびの専門店」と題し、地域の人々から、昔遊び、紙芝居、JAL折り紙飛行機、将棋、凧づくり、手芸小物づくり、変わり屏風づくり、和太鼓体験、竹とんぼづくりなど、各分野に分かれ、魅力的な遊びを学びます。昼食をはさんで、午後は全員で芸能公演などを楽しんでいます。

「キッズユートリック」に参加した子どもたちは「学年がちがう人といろいろな活動ができて楽しかった。」「他の小学校のお友達に声をかけられるようになった。」と感想を書いていました。また、保護者からは「いつも楽しく学び、遊ばせてもらっています。参加を楽しみにしています。」といった感謝の声がたくさんありました。

仁賀保公民館では、学校との連携・協働をより深めるために、学校と意見交換をしています。令和元年度から平沢小学校と院内小学校のそれぞれの授業参観に、保護者が参加しやすいよう子どもたちを見守る事業を行っており、学校や保護者から大変喜ばれています。



【あそびの専門店】



【子どものつどい】

放課後子ども教室「キッズユートリック」では、地域人材を生かし、学年や学区を超えた交流や体験活動が実施され、子どもたちの自主性や想像力、豊かな人間力、郷土愛の醸成等が図られています。「キッズユートリック」は、講師である地域住民と子どもたちの多世代交流の場にもなっています。地域の子どもの学びを支え、地域住民と子どもたちを結ぶ仁賀保公民館は、仁賀保地区にとって、なくてはならない大事な役割を担っています。